

東日本大震災から1年

何を学び、どう活かすか

第1部

～東日本大震災に対する取り組み～

被災からの復興・地域再生を先導する取り組み

海洋研究開発機構の東日本大震災に対応した取り組み

第2部

～東北地方太平洋沖地震と東日本大震災  
わかったこと・今後の課題～

I. 東北地方太平洋沖地震とは何だったのか?

東北地方太平洋沖地震

～海底観測から見てきたその実態～

2011年東北地方太平洋沖地震を考える

II. 原発事故が海洋へ与えたインパクト

東日本大震災に対する日本海洋学会の取り組み

福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋拡散シミュレーション

III. 東北の豊かな海をとりもどせ

東北マリンサイエンス拠点事業の概要

～東日本大震災からの復興支援～

津波と地盤沈下による藻場の被害と再生過程

地震後の深海生態系は変わった、より浅い場所の生態系はどうか?

森は海の恋人 - フォレストヒーローへの道 -

第3部

～地震・津波災害に強い社会への復興に  
むけて～



仙台市情報・産業プラザ  
多目的ホール

宮城県仙台市青葉区中央1-3-1  
AER5階 (JR 仙台駅 徒歩2分)

平成24年

4月7日(土)

10:00～17:30

【開場9:30】

お問合せ：独立行政法人海洋研究開発機構 事業推進部推進課  
TEL: 046-867-9230 E-mail: renkei@jamstec.go.jp ホームページ: <http://www.jamstec.go.jp>



東北大学  
TOHOKU UNIVERSITY



独立行政法人

海洋研究開発機構

参加費無料  
参加申込み不要

# 東日本大震災から1年 ～何を学び、どう活かすか～

総合同会：板橋 恵子

10:00  
} 開催挨拶  
10:10

## 第1部 ～ 東日本大震災に対する取り組み ～

10:10 被災からの復興・地域再生を先導する取り組み 東北大学 担当理事または副学長(予定)  
11:00 海洋研究開発機構の東日本大震災に対応した取り組み 海洋研究開発機構 理事 白山 義久

## 第2部 ～ 東北地方太平洋沖地震と東日本大震災 わかったこと・今後の課題 ～

11:00 I 東北地方太平洋沖地震とは何だったのか? (コンピーナ:東北大学 日野 亮太、海洋研究開発機構 鳥海 光弘)  
15:55 東北地方太平洋沖地震 –海底観測から見てきたその実態–  
海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域 領域長 鳥海 光弘

2011年東北地方太平洋沖地震を考える  
東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター センター長 教授 海野 徳仁

休憩 (12:15~13:15)

### II 原発事故が海洋へ与えたインパクト (コンピーナ:東北大学 花輪 公雄、海洋研究開発機構 河野 健)

東日本大震災に対する日本海洋学会の取り組み  
東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 教授 花輪 公雄

福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋拡散シミュレーション  
海洋研究開発機構 地球環境変動領域 短期気候変動応用予測研究プログラム プログラムディレクター 升本 順夫

### III 東北の豊かな海をとりもどせ (コンピーナ:東北大学 木島 明博、海洋研究開発機構 北里 洋)

東北マリンサイエンス拠点事業の概要 –東日本大震災からの復興支援–  
東北大学大学院農学研究科 複合生態フィールド教育研究センター 教授 木島 明博

津波と地盤沈下による藻場の被害と再生過程  
東北大学大学院農学研究科 資源生物科学専攻 教授 吾妻 行雄

地震後の深海生態系は変わった、より浅い場所の生態系はどうか?  
海洋研究開発機構 海洋・極限環境生物圏領域 海洋生物多様性研究プログラム チームリーダー 藤倉 克則

森は海の恋人 –フォレストヒーローへの道–  
NPO 法人「森は海の恋人」 理事長 畠山 重篤

休憩・ポスターセッション (15:55~16:20)

## 第3部 ～ 地震・津波災害に強い社会への復興にむけて ～ (対談)

16:20 東北大学大学院工学研究科 災害制御研究センター センター長 今村 文彦  
17:25 海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト プロジェクトリーダー 金田 義行

17:25  
} 閉会挨拶  
17:30



## 仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール

宮城県仙台市青葉区中央1-3-1  
AER5階 (JR仙台駅 徒歩2分)